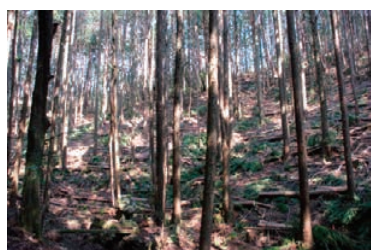


## 第7章 あいち森と緑づくり事業の取組事例

### 1 人工林整備事業

#### (1) 奥地



間伐前（写真上）、間伐直後（写真下）



施工後7年目（平成29年）

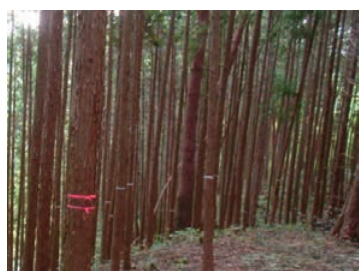
- 平成22年度に本数率で42%の強度間伐を実施しました。
- 間伐前は林内が真っ暗で、下層植生が全くありませんでしたが、間伐により林内が明るくなり、現在では、少しずつではありますが林内に下草が生えてきています。

【実施年度】平成22年度

【事業地】北設楽郡設楽町田口

【樹種・林齢】スギ・ヒノキ55年生

【立木密度】1,340本/ha⇒778本/ha



間伐前

【実施年度】平成23年度  
【事業地】豊田市久木町  
【樹種・林齢】スギ・ヒノキ  
16～55年生  
【立木密度】1,610/ha  
⇒908本/ha



施工後6年目（平成29年）

- 平成23年度に本数率で44%の強度間伐を実施しました。
- 間伐前は林内が暗く下層植生が殆どありませんでしたが、間伐により林床まで光が十分届くようになり、現在は下層植生が地表を覆っています。

## (2) 公道・河川沿い



間伐直後

【実施年度】平成24年度  
 【事業地】新城市大野  
 【樹種・林齢】スギ・ヒノキ  
 20～60年生  
 【立木密度】1,000本/ha  
 ⇒609本/ha



施工後5年目（平成29年）

- 「阿寺の七滝」に通じる県道沿いのスギ・ヒノキ人工林を一体的に間伐しました。
- 交通の妨げにならないよう、また道路沿いの電線を切断しないよう、道路とは反対方向に木を倒す必要があり、ワイヤロープで牽引しながら慎重に伐採作業が行われました。
- 本数率で39%の強度間伐を実施した結果、林内が明るくなり、事業実施後5年目となる現在では、下層植生が繁茂して土砂流出防止などの公益的機能が向上しつつあります。
- 道路沿いの目につく場所にPR看板が設置されており、事業の周知にも効果を上げています。



間伐前（写真上）、間伐直後（写真下）



施工後7年目（平成29年）

- 町道沿いのスギ・ヒノキ人工林において、本数率で46%の強度間伐を実施しました。
- 冬場の道路の凍結防止にも効果を上げており、地域住民から喜ばれています。

【実施年度】平成22年度

【事業地】北設楽郡設楽町田口

【樹種・林齢】スギ・ヒノキ50年生

【立木密度】1,150本/ha⇒615本/ha

### 気象害からの復旧（雪害）

- 平成 26 年 2 月 14 日の降雪により、北設楽郡豊根村を中心に着雪によるスギの幹折れの被害が多発し、電線の切断等、ライフラインにも大きな影響が生じました。
- これらの被害地において、被害立木の伐採、折れた幹の林内整理を実施しました。
- 写真の施工地（約 0.6ha）では、全損に近い被害を受け、森林として復旧の見込みがなかったため、被害木をすべて伐採搬出、処分しました。
- その後、森林所有者により植栽がなされ、順調に生育しています。

【実施年度】平成 26 年度

【事業地】北設楽郡豊根村上黒川

【樹種・林齢】スギ 40～50 年生



被災状況



施工直後



施工後 3 年目（平成 29 年）

### 気象害からの復旧（ダウンバースト）

- 平成 19 年に豊田市内で発生したダウンバースト（※）の被害地において、被害木の処理と併せて間伐を実施しました。（※ダウンバースト：積雲や積乱雲から爆発的に吹き降ろす気流、及びこれが地表に衝突して吹き出す破壊的な気流。）
- 被害木は内部まで損傷を受けていたため、伐採時に想定外の方向へ倒れて電線や光ケーブルを切断することのないよう、牽引具で伐倒方向を確実にして作業を行い、特に危険な被害木については、ラフテレーンクレーンや高所作業車を使用して伐採を行いました。
- 事業地が国道 257 号から近いことから木製看板を設置し、事業の PR にも努めました。

【実施年度】平成 22 年度

【事業地】豊田市桑原町

【樹種・林齢】スギ 20～60 年生



被災状況



施工後 7 年目（平成 29 年）

## 2 里山林整備事業

### (1) 提案型里山林整備事業



活動状況（左から自然観察会、下草刈り、不要木の伐採）

- 市民参加による里山林の保全・活用を推進するため、市が散策路の整備やベンチの設置等の森林整備を行い、これを支援しました。
- 事業実施後も、活動団体（二村山自然観察会）が、毎月、自然観察会を開催するとともに、年間27回、雑木林の保全整備作業、小湿地の維持作業を行っています。
- また、市民向けに「春の自然観察会」「巣箱の設置・管理」「夏の虫さがし」「ビートルベット作り&落ち葉遊び」なども開催されています。

【実施年度】平成25・26年度

【事業地】豊明市沓掛町

【整備内容】階段・木橋・進入防止策・パーゴラ・ベンチ・案内板の設置、森林整備

事業により整備した階段、進入防止策→



活動状況（散策路の整備）



「さくらの植樹会」の様子

- 市民協働による里山整備・活用を推進するため、ボランティアでは伐採できない大径木等の伐採や機材の購入等を市が行い、これを支援しました。
- 活動団体（岩屋緑地に親しむ会）が、自然観察会を開催するとともに、雑木林の保全整備作業、散策路の維持作業を行っています。
- また、地元の小学校と協力して、自然観察会やオリエンテーリングのほか、最近では、「さくらの植樹会」を開催し、里山再生に取り組んでいます。

【実施年度】平成22年度

【整備内容】チェーンソー・草刈り・チップパー・

【事業地】豊橋市大岩町

機材倉庫の設置、森林整備

## (2) 里山林健全化整備事業



全景



林内の状況→



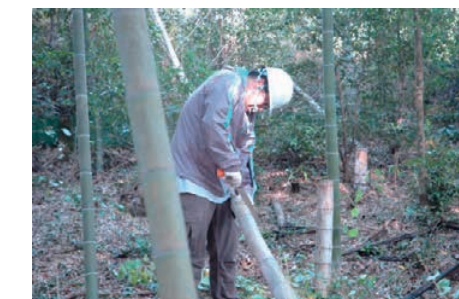
植樹したモミジ

- 放置された里山林において、市が不要木の除去、下刈りを行い、これを支援しました。
- 事業の実施を契機に、魅力ある迫地区の発展を目指して設立された団体「迫次創会」により、事業実施後も月に1回の里山林整備が行われています。
- 整備内容としては、草刈りや除伐、散策路・交流広場の整備、進入路の舗装、階段の設置、桜やモミジの植樹、案内看板の設置など多岐に及んでいます。
- 特に放置竹林を駆除した跡地には、桜、モミジ、しだれ桃などを地元の子どもたちと一緒に植樹し、植樹の記念にプレートをかけています。

【実施年度】平成25年度

【整備内容】不要木の抜き伐り、下刈り

【事業地】豊田市迫町



ボランティアによる竹林整備

子供たちによる竹林整備

- 竹が繁茂し鬱蒼としていた里山林において、市が竹の伐採及び不要木除去を行い、明るい里山林へと整備し、これを支援しました。
- 事業実施後も、地域のボランティアにより毎年、竹林整備や草刈りなどが行われています。
- また、隣接して「平成こども塾丸太の家」(里山を活用した教育施設)があり、地域の子供たちの自然環境学習の場としても活用されています。
- 今後は、周辺の里山林へと整備区域を広げていき、地域資源として里山林の価値向上をめざしています。

【実施年度】平成27年度

【整備内容】竹の伐採、案内板の設置

【事業地】長久手市福井

### (3) 里山林再生整備事業



整備後の様子（右下は整備前）



整備後の様子（右下は整備前）

- 竹の侵入や枯損木の発生が著しい里山林の再生のため、県が枯損木・竹の伐採等を行いました。
- 事業実施後は、地元区が竹の伐採などの活動をしています。
- 施工地は広く開放され、近隣保育園の遠足に活用されています。また、春のタケノコ収穫の期間は、地元区民なら誰でも採れるようにしているため、親竹となる竹は伐採しないように注意喚起のカードを付ける等して、竹林管理に努めています。
- 他市町から視察もあり、モデルとなっています。

【実施年度】平成27年度  
【事業地】美浜町大字豊丘

【整備内容】不要木の抜き伐り、竹の伐採  
丸太柵工、竹筋工、作業歩道 等



整備前（写真上）、整備直後（写真下）



整備後3年目（平成29年）

- 本事業地は、周囲を住宅地に囲まれた、お寺の裏山の里山林で、事業実施前は樹木が覆い茂り、枯損木の発生や竹の侵入が著しい状態でした。
- そのため、県が枯損木や竹などを伐採し、丸太筋工を設置することで、森林の有する公益的機能を高め、地域住民が森と緑に触れ合う場となるように整備をしました。
- 整備により林内が明るくなり、現在では下層植生の生長が確認され、公益的機能が発揮される里山林へと再生しています。

【実施年度】平成26年度  
【事業地】西尾市西幡豆町

【整備内容】不要木の抜き伐り、枯損木の伐採、  
竹の伐採、丸太筋工 等

### 3 都市緑化推進事業

#### (1) 身近な緑づくり事業



【実施年度】平成23年度

【事業地】扶桑町

○ 用地買収による緑地の保全

「美しい愛知づくり景観資源600選」に選ばれた名鉄犬山線扶桑駅近くの樹林地(面積約0.89ha)を町が買い取り、緑地を保全。



現在(平成29年)

【実施年度】平成27~28年度

【事業地】北名古屋市

○ 緑地の創出(北名古屋市)

寄附を受けた土地に、市民が憩う公園緑地(約2,700m<sup>2</sup>)を市が整備

#### (2) 緑の街並み推進事業



現在(平成29年)

【実施年度】平成23年度

【事業地】名古屋市

○ 屋上緑化

オフィス兼マンションの屋上緑化を整備。約80m<sup>2</sup>の芝生に、菜園、花壇を整備し、常緑高木のシマトネリコを植樹。



【実施年度】平成22年度

【事業地】名古屋市

○ 駐車場緑化

COP10に併せてホテルの駐車場緑化を整備。名古屋工業大学の協力により、環境変化の調査を実施。



【実施年度】平成23年度  
【事業地】小牧市

○ 壁面緑化

フッキソウ、ヤブコウジ、ツワブキなど40種の植物を植栽し、生育状況等を検証。



(平成28年現在)

【実施年度】平成24年度  
【事業地】岡崎市

○ 空地緑化

マンションの敷地内(約600m<sup>2</sup>)に、樹木(中高低木約2600本)や地被類を植栽



(平成24年当時)



現在(平成29年)

【実施年度】平成24年度  
【事業地】大府市

○ 空地緑化

知多半島の生態系ネットワークづくりの一環としてJR東海道線大府駅近くで企業がビオトープ(面積約1,100m<sup>2</sup>)を整備し、一般に開放。(平成24年実施)平成29年現在、右写真のようになりました。



### (3) 美しい並木道再生事業



(平成28年)



(平成26年)

【実施年度】平成24年度

【事業地】豊川市

#### ○ 並木道再生

市民に「桜トンネル」と親しまれている並木道の再整備。老木の桜を植え替え、郷土風景を次世代へ承継。

### (4) 県民参加緑づくり事業



現在 (平成29年)



現在 (平成29年)

【実施年度】平成21年度～

【事業地】弥富市

#### ○ 県民参加による植樹祭

市民による三ツ又池植樹祭を開催し、芝桜を植栽。多くの市民が訪れる人気のスポットに。



【実施年度】平成23年度  
【事業地】一宮市

○ 県民参加による園庭芝生化

園児のけがの減少、環境や緑化への興味が増加などの多様な効果がある園庭の芝生化。

○ 8年間で13市81の保育園、幼稚園や小学校等の園庭・校庭を芝生化。



【実施年度】平成22年度  
【事業地】みよし市

○ 県民参加による園庭芝生化

園児やその家族、地域の方々の参加でポット苗方式の芝生化を実施。



(平成22年当時)

【実施年度】平成22年度  
【事業地】大府市

○ 県民参加による植栽

二ツ池公園で市民が育てたドングリの苗木などを市民参加により植樹。(平成22年)平成29年現在、右写真のように育ちました。



現在(平成29年)

## 4 環境活動・学習推進事業

### (1) 森・緑の育成活動事業

- 【実施団体】かすがい里山自然楽校  
【事業名】市民憩いの森づくりプロジェクト  
【実施年度】平成26～29年度  
【実施場所】春日井市大泉寺町



- 雑木林の環境整備や希少動植物の調査、生息地保全、歩道整備、維持管理を行っています。また、生物多様性を伝える広報、普及活動や子供会などを活用した自然観察会、体験イベントを実施しています。

### (2) 水と緑の恵み体感事業

- 【実施団体】矢田・庄内川をきれいにする会  
【事業名】水源の森の恵みを活用し、生物多様性を実現しよう  
【実施年度】平成21～29年度  
【実施場所】名古屋市千種区・守山区、尾張旭市



- 水源からもたらされる水が下流域において十分に活用されているか検証するため、矢田川において魚道の遡上能力を上下流で魚を捕って調べる、川の生物に触れながら、捕り方や名前を知る、水量・水質などの棲息条件が水源の森の恵みと人間の生活によることを知る、といった活動を実施しています。

### (3) 森林文化の体験・学習事業

【実施団体】 特定非営利活動法人地球温暖化対策地域協議会エコネットあじょう

【事業名】 奥三河の森林保全と間伐ボランティア活動

【実施年度】 平成 24～29 年度

【実施場所】 新城市作手



- 荒れた山を「水源の森」とするため、市民ボランティアで「エコネットチェーンソーズ」を結成し、訪れる機会の少ない奥山での間伐作業を行っています。また、針葉樹を広葉樹を含む混交林に変換し、生物多様性豊かな森に変え、その重要性について啓発活動を行っています。

### (4) 森林生態系保全の学習事業

【実施団体】 金城学院大学

【事業名】 東部丘陵地域の里山学習プロジェクト

【実施年度】 平成 23～29 年度

【実施場所】 名古屋市守山区



- 丘陵地に残る大学内の里山を活用し、地域住民に生物多様性への理解を深めていただけるよう、竹の炭焼き体験講座、わら縄編み体験、リースづくりを開催しています。自然林に入って里山の営みを体験したり、恵みを体感するなど、里山が身近で豊かな自然であることを知っていただけるよう、学生と教職員が一緒になって講座を企画しています。

## (5) 太陽・自然の恵み学習事業

- 【実施団体】刈谷市  
【事業名】かりやグリーンカーテン事業  
【実施年度】平成25年度～29年度  
【実施場所】刈谷市



- 市域全体で地球温暖化防止、省エネの取組を推進するため、家庭・事業所を対象としたグリーンカーテンコンテストを実施し、参加者には種やネット、作成マニュアルを配布しています。また、幼稚園・保育園・小学校などにグリーンカーテンを設置し、環境教育に活用しています。

## (6) 生物多様性に関連した独自提案による環境活動・学習事業

- 【実施団体】一般社団法人名工家  
【事業名】教室の空気はビタミン材運動  
【実施年度】平成24年度～平成29年度  
【実施場所】名古屋市



- 教室や共用部分に設置する間伐材の掲示板を児童と一緒に作製しています。また、木材を使っている大工さんから森や木の話を知るとともに、県産間伐材を使ってのこぎりやカンナ体験を行うなど、森林についての環境授業を実施しています。

## (6) 生物多様性に関連した独自提案による環境活動・学習事業

【実施団体】井ヶ谷町内会

【事業名】ため池の生物多様性の調査及び水質浄化の検証

【実施年度】平成26年度～29年度

【実施場所】刈谷市井ヶ谷町



- ため池において、健全な生態系の保全や水質浄化を図るため、地元住民や学生などの協働により、池の水を抜いて魚を捕る「池もみ」を実施し、外来魚の捕獲や水質調査を行いました。地区住民、大学、行政の連携のもと、生物多様性の損失を止めるための具体的な行動の実践を通じて、地域全体の環境活動の機運を高めることができました。

## (7) 生態系ネットワーク形成事業

【実施団体】西三河生態系ネットワーク協議会

【事業名】苗木循環育成モデル化事業

【実施年度】平成26年度～平成29年度

【実施場所】幸田町、岡崎市他



- 西三河地域の生物多様性向上、生態系ネットワーク形成を目指して、企業、消費者団体、学校などが協力して、地域在来種（コナラ・アバマキ等）の育苗、植樹に取り組んでいます。植樹会・自然観察会や学校・家庭での地域在来種の苗木の育成（1年間）を通じて、生物多様性保全に対する理解が高まり、地域における連携・協働の取組が進んでいます。

## 5 木の香る学校づくり推進事業



林業普及指導員による講座の様子



生徒自ら「あいち認証材」のラベル貼り

- 美浜町は、町内全8小中学校からの要望をもとに、「あいち認証材」を用いた机、椅子、ロッカー、教卓の導入を進めています。
- 児童・生徒が毎日、愛知県産の木材に触れることにより、木の良さや森林整備の大切さについて理解してもらえる環境を整えています。
- さらに理解を深めてもらうため、林業普及指導員が「あいち森林なるほど講座」を実施し、県産材の利用について講義を行いました。また導入された机・椅子に、児童たち自らで「あいち認証材」のラベルを貼った事例もあります。  
学校における身近な製品の利用から、県産木材の普及啓発に努めています。



木製遊具で遊ぶ児童たち



林業普及指導員による訪問授業の様子

- 豊橋市では、市内の全小学校に、「あいち認証材」を用いた机、椅子を導入しており、下駄箱や教壇、遊具の整備も順次行っています。
- 日々、愛知県産の木材に触れることが出来る環境を整えて、木材の温かみを感じてもらい、あわせて身近にある森林の大切さについても考えるきっかけとなっています。
- 10月8日の木の日に合わせて、林業普及指導員と市内の木材商工協同組合とがタッグを組み、市立吉田方小学校において、訪問授業を実施しました。県産木材を身近なものに利用することが、森林の公益的機能の発揮に貢献していることを子供たちに理解してもらいました。

## 6 愛知県産木材利活用推進事業



森林内での集材の様子



「木の駅」の土場に集まった間伐材

- 新城市内で実施されている「木の駅プロジェクト」では、木の駅プロジェクト実行委員会が山で未利用となっている間伐材を「木の駅」に集め、まとめてチップ業者に販売し、1トンあたり6,000円分の地域通貨を森林所有者に発行しています。間伐材の有効利用と地域振興の一石二鳥をめざす取組で、6,000円/トンの内、木材販売収入は3,000円/トンで、残りの3,000円/トン分について、新城市が助成しており、その一部を本事業により支援しました。
- 木の駅の参加者からは、「間伐で切り捨てておくしかなかった木が活用できてよかった。」「自分の山に久しぶりに行った。」「地元の商店を利用する機会が増えた。」などの声が聞かれました。また、木の駅プロジェクトの事務局の方は、「この様な助成があることで、大変に助かっている。」とのことでした。
- 木の駅プロジェクトの活動により、地域内の未利用森林資源が有効活用されているだけでなく、山主や地域住民に、地域の森林に対してより関心を持ってもらうことができおり、また、地域の振興にもつながっています。



祖父江の森温水プール(稲沢市)



尾張旭市立図書館(尾張旭市)

- 子どもからお年寄りまで幅広く利用されている祖父江の森温水プールの2階観覧スペースのベンチをプラスチック製から木製にしました。
- 木製のベンチに替わったことで、観覧スペースの雰囲気明るくなったと評判になっています。肌触り、座り心地がよく、温かみのあるベンチに腰掛けて、プールを楽しむ様子をゆったり観覧することができます。
- 尾張旭市立図書館内の閲覧室や正面玄関横などに木製ベンチを設置しました。木製ベンチから発せられる爽やかなヒノキの香りでリラックスできると、多くの利用者から好評です。
- 利用者の皆様には、ゆったりと落ち着いた雰囲気の中で読書を楽しんでいただけるようになり、くつろぎやすい休息の場として、木製ベンチをご利用いただいています。



